

高校生のための「超」教養講座 Q & A

講座No. 4 「国際貿易の原理」を視聴して以下の問いに答えなさい。

Q1 国際経済学は次の4つの柱から成り立っている。()を埋めなさい。

商品やサービスのやり取りを研究する () 論

海外現地生産、海外株式等の購入に関する () 論

外国為替や銀行間取引などに関する () 論

発展途上国に関するもので、上の3つを応用した
() 論

Q2 商品の価値は、その商品の生産のために必要とされる「総労働時間」によって決まるとする古典経済学の大前提を何と言う？

()

Q3 生産費がどちらが安いかで国際貿易が決まるという考えを何と言う？

()

Q4 Q3を唱えた「経済学の父」とも呼ばれるイギリスの経済学者は？

()

Q5 1時間(または1人)の労働が、国が違えば同じ1時間(または1人)とみなされないことを、講義のなかで板木先生は何と呼んでいるか。

()

Q6 「たとえある国のすべての産業が生産力で劣っていても、相対的にマシな産業を輸出産業にできる」。このことを何と言う？

()

Q7 Q6を唱えた人は誰？ また、この説を何と言う？

()()

Q8 次の文のうち正しいものに○、誤ったものに×をつけなさい。

国際経済のもとでは、

アダム・スミスの絶対生産費説は誤りで、リカードの比較生産費説が正しい。
()

リカードによる労働のディスカウントを考慮した場合、スミスの絶対生産費説は
成り立っている。()

アダム・スミスの説とリカードの説は、どちらが正しくどちらが誤っている
ということではない。()

アダム・スミスの説とリカードの説はともに正しいとは言えない。()

高校生のための「超」教養講座 Q & A

講座No. 4 「地球温暖化ガス、フロンは無害化による資源再生」Q&Aの正解。

A1 国際貿易(論) 国際投資(論) 国際金融(論) 国際開発(論)

A2 労働価値説

A3 絶対生産費説

A4 アダム・スミス

A5 労働のディスカウント(あるいは「不等労働量交換」)

A6 比較優位

A7 リカード / 比較生産費説

A8 ×、 ×、 ×、 ×